

2022年8月5日

協議会委員各位

沖縄県がん診療連携協議会幹事長
増田昌人

第4次沖縄県がん対策推進計画（当協議会案）を作成する件について

2018年から始まった第3次沖縄県がん対策推進計画（以下、沖縄県がん計画）による沖縄県のがん対策も5年目に入った。現在、沖縄県によりその中間評価が行われている途中である。また、来年度は、第4次沖縄県がん計画の策定が行われる。

一方、厚生労働省では第8次医療計画の策定のための協議が始まっており、そこではロジックモデルを用いての作成が始まっている。このことから、次期沖縄県がん計画も第8次医療計画と同様にロジックモデルを基本に作成することが必要である。

本協議会は、がん対策について、ロジックモデルを用いて行うことに関しては10年以上の経験があり、各専門部会でも同様である。

また、第2次沖縄県がん計画および第3次沖縄県がん計画の作成時にも、当協議会において協議会案を作成し、議長から沖縄県知事に提案している。

これらのことを踏まえて、第4次沖縄県がん計画（当協議会案）を作成し、沖縄県に提案することを提案します。

第4次沖縄県がん計画（協議会案）の概要

1. 本年9月から検討を開始する
2. たたき台はベンチマーク部会が中心となり、各専門部会の意見を聞きながら作成する
3. 第3回協議会、第4回協議会で協議し、年度内の完成を目指す
4. 最終案は、令和5年度第1回協議会で決定する
5. 議長から、沖縄県に提案する
6. ロジックモデルを用いて作成する。
7. 意見は、協議会委員および専門部会委員からだけでなく、拠点病院からや患者会からも広く募る
8. がん計画の中には、評価指標も入れ込む